別紙1

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度　令和２　年度

市町村名	春日部市			
提案事業名	SDGs推進事業			
事業期間	令和３　年度　～　令和３　年度			
事業の必要性、目的	本市ではSDGsを市政運営に取り入れ、令和2年7月にはSDGs未来都市に選定されている。 社会全体において、SDGsへの認知度は、ここ数年で広まりつつあるものの、市民生活にとっては幅広く、掴みどころがないといわれることも多い。SDGsはあらゆるステークホルダーのパートナーシップがもっとも重要であるが、とりわけ行政は自身がSDGsに取り組むことはもちろんのこと、立場が異なるもの同士（市民・事業者など）へ働きかけ、課題を共有したり、意見交換の場を構築することが求められている。			
成果指標	（成果を検証する指標） かすかべSDGsパートナーズ会員数			
	（成果検証の具体的な方法） 春日部市への申請			
	（上記の指標を設定した理由） SDGsに関心を持った上で実践者としても自覚を持って登録する団体数が数に表れるため。			
	（成果の目標値）			
	現状値（令和２年３月現在）	67者	目標値（令和４年３月時点）	120者
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
	住民への公表方法及び特記事項	市のホームページで公表する。		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和3年度　構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① SDGs市民普及促進支援事業	ソフト	身近な地域課題を知り、すでに実践している方々から講演を聞いたりワークショップに参加したりすることにより、受講者であった市民らが実践者となって、SDGsパートナーズの輪に加わっていく。	1,905
② SDGsパートナーズ運営支援	ソフト	パートナーズ会員間が各自の取組を発表したり、意見交換したりする場があることによって、課題解決に意欲的に取り組むきっかけを掴み、地域にとっても当事者にとっても、有益な活動が促進していく。	1,320
③ (仮称)武里未来会議	ソフト	武里エリアの課題を多面的に理解し、住民・事業者を始め、多様な主体が共通認識をもって地域の将来像を共有する。	1,000
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
⑥	ハード ソフト 間接補		
		合計	4,225

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市民一人ひとりに対しては、SDGsの取組に対するハードルを高く感じさせないように工夫すること。また、事業者に対してはSDGsに取り組むことは負荷ではなく、中長期的な成長につながるメリットであることを分かりやすく伝えていく。
成果指標の達成見込み	令和2年5月にかすかべSDGsパートナーズを設置して以降、直近では月あたり5～6者が新規登録。今後もSDGsに関する取組を情報発信することで、通年換算で60者以上の新規登録を見込む。